

光可変減衰器

HRLAシリーズ



■特長

1. 可変減衰
1～6dBの減衰範囲内で、自由に減衰量を設定することが可能です。
2. エアーギャップ方式を採用していますので、効率的な減衰が得られます。
3. プラグジャックタイプであり、操作性に優れています。
4. FC形 (JIS C5970) 光ファイバコネクタに対応しています。
5. その他各種減衰量レンジ等もご相談に応じます。

■用途

光ファイバ通信網のパワーレベル調整用としてご使用ください。

■製品規格

定格	使用温度範囲	0℃～+30℃	保存温度範囲	-40℃～60℃
	許容電力	30mW	適合ケーブル	SM

項目	試験方法 (JIS C 5961)	規格
光学的性能	減衰量可変範囲	波長1310nm (LD) 1～6dB
	反射減衰量	波長1310nm (LD) 40dB以上
機械的性能	アダプタのゲージ保持力	φ2.499±0.0005のジルコニアゲージ 2.0～5.9N
環境的性能	温度サイクル 温度 0→0～30→30→30～0℃ 時間 60→60→60→60min を100サイクル	①試験後減衰量の規格を満足すること。 ②破損、ひび、部品の緩みがないこと。

■材質

部品名	材質
外装	ステンレス鋼
フェルール	ジルコニア
割スリーブ	銅合金

■製品番号の構成

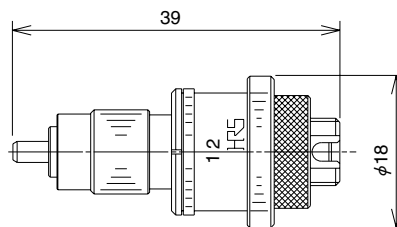
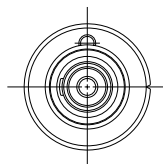
HRLA — C 1 M L — 06 — PJ

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

① アッテネーターを表す。
② 形式：C…連続可変減衰器
③ 光コネクタ：1…JIS C 5970 (F01) に適合
④ 光ファイバ：M…SM-9.5/125に適合
⑤ 使用波長帯：L…1.31 μm
⑥ 最大公称減衰量(dB)
⑦ 種別：PJ…プラグジャックタイプ

■光可変減衰器

●プラグ-ジャックタイプ



製品番号	HRS No.	最大減衰量	減衰量可変範囲	反射減衰量	備考	RoHS
HRLA-C1ML-06-PJ(40)	CL820-2001-4-40	6dB以上	1～6dB	≥40dB	プラグジャック形	○

※目盛は、目安としてご使用ください。